

# 農業水利施設保全合理化事業

- 我が国農業の競争力を強化するためには、担い手への農地集積を加速化していくことが重要。
- しかし、老朽化した旧来の水利システムでは水管理労力が重荷となり、担い手への農地集積に支障。また、老朽化に起因する突発事故により、農業被害のみならず、住宅・公共施設への二次被害。
- このため、老朽施設の機能診断・補修や水路のパイプライン化等の保全・合理化整備等を実施し、水利用・水管理の効率化・省力化、水利施設の安全性の向上により農業競争力を強化。

## 1. 事業内容

### ①調査計画

工 種: 水利用調整、計画策定等  
補助率: 定額等

### ②整備事業

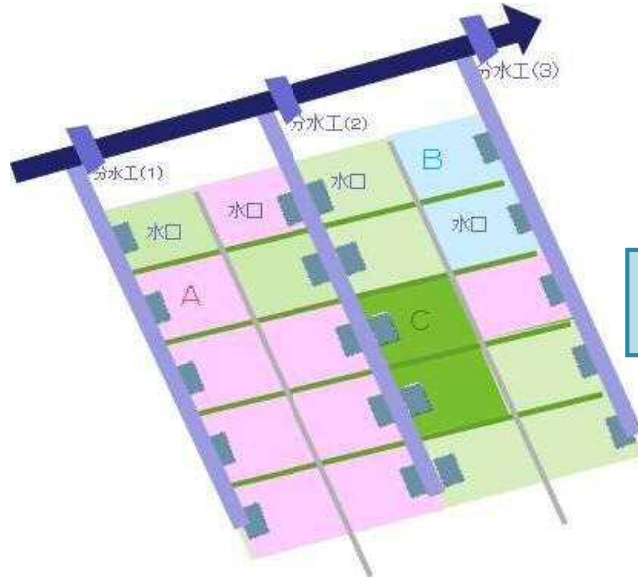
工 種: 補修・更新等の保全整備、パイプライン化・ゲート自動化等の合理化整備等  
補助率: 50%等



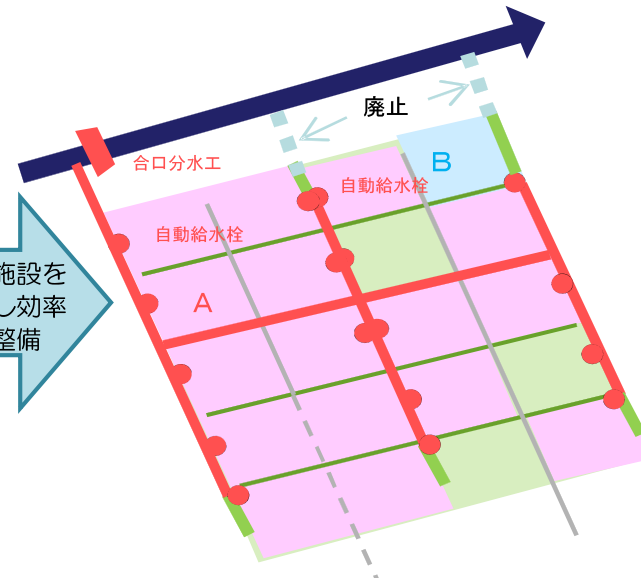
分水工



水口



既存施設を  
活用し効率的に整備



ゲート自動化



パイプライン化



自動給水栓

## 2. 実施要件

- ① 農地集積計画が策定されていること
- ② 受益面積20ha以上であること 等

## 3. 実施主体

- ・都道府県
- ・市町村
- ・土地改良区等